

第1号議案 平成18年度事業報告

平成18年度は、診療報酬の大幅な改定とともに始まり、専門職としてのエビデンスが求められる中、職域の拡大を図るための様々な事業が盛り込まれた第二次長期10ヵ年計画が定期総会にて承認された。また、次年度以降の新たな事業を見据えながら、部局間の調整会議や会費値上げのための臨時総会の開催に積極的に取り組んできた。平成18年度は第二次長期10ヵ年計画の始まりの年でもあり、これまでの活動を大きく変革するには今暫く時間はかかるが、その準備は着々と進められている。以下に平成18年度の主な活動について、長期10ヵ年計画の柱に沿って報告する。

1. 社会貢献

平成18年度は平成17年度実施された「きたのくにいきいき福祉健康フェア」参加の経験を生かし、作業療法啓発事業の一環として事業部を中心に作業療法士会単独で札幌駅北口にてイベントを開催した。ニュース等でもご紹介した通り大変盛況であった上、他県士会からの問い合わせもあり、次年度の公益事業に向けての大きな足がかりとなった。また、協会からの助成金事業としてイベント用グッズの開発にも取り組み、更なる活動の拡大が期待できる。一方、「第10回北海道精神障害者セミナー&キャンプinさっぽろ」の主幹としての取り組みも、障がい者団体との協業として大きな成果を上げた。ここ数年社団法人としての公益活動の期待が高まっており、渉外部と連動して、社会人就労支援事業ジョブルートマップ制作(経産省)への参画や雇用促進事業(道雇用労政課)への支援など活動は多岐に渡っている。

2. 職域拡大

専門分野の明確化を図りながら、新たな専門領域を確立させるため、長期10ヵ年計画前期行動計画の一つとしてこれまで進められてきた急性期プロジェクトの報告集(学術誌)を発行した。学術部ですすめられてきたこの急性期プロジェクトは一つの成果として、職域拡大に向けての広報資料となりうるだけでなく、今後のプロジェクト立ち上げの先駆けとしての役目を十分に果たしたと言える。直接的に職域拡大に繋がるものではないが、作業療法の専門性がより分かりやすく、より理解しやすいものとなるよう、また、医療のみならず、保健・福祉・教育領域に加え、新たな領域への拡大に繋がるようこの他にも複数のプロジェクトを立ち上げるべく検討中である。これまでは一部署が担ってきたものを、複数の部署で協業することにもなるため、多くの時間と調整が課題となってくる。

3. 質の向上

従来通り、新人研修会、講習会及び現職者講習会を中心に実施した。参加者延べ人数もここ数年1,000名を超え、各支部での道士会主催新人研修会も定着しつつある。懸案事項であった支部主催新人研修会や支部主催講習会については、各支部と協議の上、支部主催の方向で準備がすすめられてきた。併せて質の確保が課題となるが、支部開催マニュアルの見直しと、各支部教育部担当者連絡会議(仮称)を設置し、支部開催に向けてスムーズな移行の準備を進めてきた。一方、中間層を対象とした研修会は企画段階であり、次年度開催に向けて準備を進めている。

4. 組織強化

上記3つの目的を達成するために、潤沢な資金の確保、事務局体制の見直しと安全な情報管理システムの構築の検討を進めてきた。資金については、臨時総会にて会費値上げが採択され、次年度より会費10,000円の徴収が開始される。これにより、各部局への十分な資金提供と支部の活動費が確保され、各部局の活動の拡大や各支部の活性化が図られるものと期待する。事務局体制についても懸案事項であった事務所の設置が現実味を帯び、場所の選定に当たっているところである。情報管理については会員の個人情報のセキュリティーの向上のみならず、保険制度の情報の集約化や発信が以前と比較して、速さ、量、質ともに向上していると実感している。

平成19年3月31日現在の会員動向は、正会員総数が1616名であり新規入会者204名、退会者44名、資格喪失者15名、不明者2名で昨年度に対し143名の増員となった。支部別の会員数は以下の通りである(カッコ内は総会員数に対する割合)。

札幌支部747名(46.2%)、石狩支部100名(6.2%)、空知支部78名(4.8%)、後志支部67名(4.2%)、日胆支部151名(9.3%)、道南支部95名(5.9%)、道北支部180名(11.1%)、十勝支部80名(5.0%)、根釧支部58名(3.6%)、網走支部60名(3.7%)

各支部の会員比率は道南支部を除きほぼ横這いか微増している。退会者42名中、6割の会員は退会理由が道外転出となっており、例年に比べて多かった。

【事務局】

[総務部]

1. 会議運営

1)定期総会;H18.5.13開催

2)理事会;年7回開催 第1回 6月24日 第2回 7月22日 第3回 9月30日 第4回11月25日 第5回 1月27日
第6回 2月24日

3)三役会;年8回開催 第1回 6月12日 第2回 7月19日 第3回 9月30日 第4回11月 1日 第5回11月20日
第6回 1月25日 第7回 2月20日 第8回3月22日

4)その他;PT・OT合同三役会(11/20)

2. 定期刊行物の発送及び保管

士会ニュース(隔月発行);年6回 4月 6月 8月 10月 12月 2月

3. 公文書接受・発行

4. 事務所(難病連センター)管理;理事会、研修会、学会関係物品等の保管

5. 慶 弔;祝電16件(入学式8件、養成校卒業式6件、その他2件)

弔電1件(会員)

[調査部]

1. 会員基本データ管理

2. ホームページの管理運営

3. プロバイダー及びホームページの内容の見直し

・NECBiglobe法人会員サービスによるドメインの取得及びセキュリティサービスの充実

・研修会web申し込みのセキュリティ向上

4. OT協会会員管理システムの管理・運営

5. 個人情報保護法への対応

[渉外部]

1. 渉外(資料3)

1)行政、他団体関連事業への協力・提言

2)儀礼、新年交礼会出席

3)日本作業療法士協会・都道府県作業療法士会連絡協議会関連

4)他団体・当事者団体等への委員・講師派遣、後援協力

①委員・講師派遣名簿(資料4)

②名義後援依頼(資料5)

③日本作業療法士協会及び北海道作業療法士会説明会;7校 会長

2. 事業

・北海道経済部労働局雇用労政課「福祉・医療フェアにおける相談コーナー」の設置(8/4);事務局長

・経済産業省主管北海道若年者就労支援センター「ジョブルートマップ」制作への支援

[財務部]

1. 平成18年度予算執行の管理

2. 平成18年度決算書の作成

3. 平成19年度予算案の作成

4. 各部局、委員会、支部との財務管理システムにネットバンキングによる一括管理方式を導入

5. 道への会計監査報告書の作成

6. 会費値上げに関する資料の作成

7. 会計事務所契約内容の見直し

【学術部】

1. 平成18年度「北海道作業療法」編集、発行

①北海道作業療法23巻第1号発行

②北海道作業療法23巻第2号発行(第二次長期10ヵ年計画掲載)

2. 急性期作業療法効果研究プロジェクト活動の実施

整形外科班、ADL班、脳外科班、高次脳機能班の各プロジェクトの活動を論文にまとめ、北海道作業療法23巻第2号「急性期作業療法効果研究プロジェクト活動報告特集」に掲載

3. 学術奨励賞の選考(札幌学会)
3名を選出(平成19年度総会にて表彰予定)
4. 学術情報の提供(機関誌への学術資料リスト掲載)
6. 学術奨励システムの検討

【教育部】

- | | 参加者 |
|---|------|
| 1. 講習会:3回/年 | |
| 第1回(5/13 総会) ;「臨床研究・教育における個人情報保護について」 | 127名 |
| 第2回(6/17,18 小樽) ;「脳卒中の評価と治療」 | 33名 |
| 第3回(8/26 北見) ;「老人保健施設の作業療法の役割」 | 24名 |
| 2. 新人研修会;5回,12会場(支部開催6回含む)/年 | |
| 第1回(6/10,11 札幌) ;「協会・道士会の歴史・組織」「人間関係論」「倫理綱領」「症例研究Ⅰ」 | 141名 |
| 第1回(7/8,9 釧路) ;同上 | 20名 |
| 第2回(7/1,2 札幌) ;「福祉関連機器・用具」「地域医療福祉」「人間関係論」 | 163名 |
| 第2回(7/22 北見) ; 同上 | 13名 |
| 第3回(10/21,22 札幌) ;「関係法規」「科学・その性格と研究方法」「症例研究Ⅱ・Ⅲ」 | 134名 |
| 第3回(10/28,29 旭川) ;「関係法規」「科学・その性格と研究方法」「症例研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」 | 30名 |
| 第4回(11/4,5 札幌) ;「世界における作業療法の動向」「日本における作業療法の動向」「作業療法の対象領域」
「臨床実習教育指導方法論」 | 130名 |
| 第4回(11/18,19 函館) ; 同上 | 31名 |
| 「症例研究Ⅱ・Ⅲ」(2/17,札幌) ; | 59名 |
| 「症例研究Ⅱ・Ⅲ」(2/17,釧路) ; | 7名 |
| 「症例研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」(2/17,北見) ; | 9名 |
| 「症例研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」(2/18,函館) ; | 13名 |
| 3. 現職者講習会 | |
| 第1回(9/9,10 札幌) ;「老年期障害領域の作業療法」9テーマ | 41名 |
| 第2回(9/30,10/1 札幌) ;「身体障害の作業療法」8テーマ | 44名 |
| 第3回(12/2,3 札幌) ;「精神障害の作業療法」8テーマ | 23名 |
| 4. PT・OT合同研修会(1/20 札幌);「地域での連携について」 | 81名 |
| 5. 支部主催研修会の開催方法について検討
新人研修会;各支部主催(札幌支部のみ道士会主催)
支部主催講習会;道士会開催基準を満たすことで認定(道士会主催と同等) | |

【福利部】

1. 新卒者の就職状況把握
平成18年度道内養成校新卒者:188名
道内新就職者:168名
2. 新卒者への士会入会勧誘の実施
道内新就職者168名に対し郵送にて実施。
3. 新会員歓迎会
平成18年5月13日、総会後に北海道立総合体育センター(きたえーる)内レストランにて実施。約100名の参加。
4. 団体保険管理・運営
年間対象者800名にて契約更新、各部局には毎回議事録の提出を要請
5. 研修会等での託児運営支援
開設準備への具体的支援方法を検討
6. 福利相談
福利相談窓口の活性化方法の検討及び会員に対する宣伝を広報部に依頼
7. 倫理規定情報収集・検討
協会の倫理要綱を活用
8. 平成18年度新年交礼会実施
平成19年1月20日 札幌グランドホテルにて開催
来賓22名 賛助会員11名 会員39名 計72名

【広報部】

1. 道士会ニュース年6回発行(No65.66.67.68.69.70.)

2. 編集マニュアルの作成
3. サテライト通信体制の強化
4. 編集班複数化の検討
5. 原稿依頼手続きの整備

【事業部】

1. 道庁パネル展;7/27,28
2. ドリコム主催「進学ガイダンス」OTブース設置(OT協会委託事業);6/30
3. 「第10回北海道精神障害者セミナー&キャンプinさっぽろ」の開催;8/16,17
OT士会主幹、協カスタッフとして精神科OTRを事業部員に任命
4. OT啓発イベント;9/30
JR札幌駅西口イベント広場
イベント用グッズ(パネル、オリジナルジャンパー、展示品等)の作成
5. 事業部備品の貸し出し
函館支部、根釧支部イベント;オリジナルジャンパー
6. OT啓発グッズの開発(OT協会委託事業);OTロゴ入り折り紙の試作

【保険部】

1. 保険関連の情報収集
HJネット、医療・介護新聞からの情報収集、関連サイトからの情報収集
2. 士会員への情報提供;
・ニュース記事掲載;2回
・メールリストによる情報伝達;1回/週(担当理事、部員、事務局、登録施設)
3. 士会員からの保険相談対応
4. 保険関連集会への参加
・北海道保険医会集会;9/29
・日本の医療を守る道民協議会第4回総会;1/12
5. アンケート調査
・平成18年度診療報酬改定に関するアンケート調査を実施(メールでの調査)
・対象施設;35施設、回収率60%(詳細はニュース12月号参照のこと)
6. 講習会の開催
テーマ;障害者自立支援法 講師;札幌市保健福祉局障がい課長
開催日;H18.11.25 参加者36名

【常設委員会】

[総会議事運営委員会]

平成19年度第15回定期総会開催準備及び運営(5/12)

[学会評議委員会]

1. 平成18年度第37回札幌学会の支援
2. 平成19年度第38回後志学会の支援
3. 平成20年度第39回学会、平成21年度第40回学会開催地及び学会長の検討
4. 「学会運営手引き」の見直し
5. 平成18年度第37回札幌学会の参加者の動向調査

[選挙管理委員会]

1. 平成19年度役員選挙の準備及び開催;5/12(総会時)

[企画調整委員会]

1. 第二次長期10ヵ年計画の遂行状況の確認と修正
・第二次長期10ヵ年活動計画前期行動計画にかかる部局調整会議の開催(8/22)
・第二次長期10ヵ年計画に伴う会費の改正についての検討
・第二次長期10ヵ年計画の学術誌への掲載
2. 緊急且つ今日的課題への対応
・「21世紀の医療と福祉を守る会」発足に伴う政治的活動への対応について検討

【特設委員会】

[規約検討委員会]

1. 規約の見直し
 - ・会費改正に伴う規約の改正
 - ・広報活動、公益事業等に伴う謝金規程見直しの検討

【支部連絡協議会】

1. 支部連絡協議会会議の開催
 - 第1回会議; 5月13日(道士会総会時)
 - 第2回会議;11月11日
2. 各支部の年度活動報告・計画、年度会計報告・予算、及び活動状況の集約と調整
3. 部局・委員会と支部間の連絡調整
 - 教育部研修会の支部開催の見直しについて